

「ノーサイド」

先日皆さん、こんばんは！会員家族の皆様、ようこそ、お越し下さいました。

今宵はお月様と美味しい料理をお楽しみいただき、またニュージーランドについて少し勉強していただきたいと思います。

さて、ニュージーランドと言えば、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会が明日から日本各地で始まろうとしています。

阪神タイガースも今シーズンも終わってしまいましたので、ラグビーでお楽しみいただきたいと思います。

本日、このお月見例会の企画運営を担当いただいています森村チームリーダーは元ラグーマンで横浜に観戦に行かれるそうですが、十分に楽しんでいただきたいと思います。

ラグビーの試合終了時に吹かれる「ノーサイド」の笛、「試合が終われば、勝利の側も負けた側もない」肩を叩き健闘を称え合い、またの機会の奮闘を誓い合うという崇高なこのラグビー精神。

スポーツマンシップを大切にする日本人には「ノーサイドの笛」は心に響きます。

ラグビーの発祥地はイングランドですが今、英語圏では「ノーサイド」という言葉はもはや“死語”に近いと言われています。

海外ではラグビーの試合終了の笛は「フルタイム」と呼ぶそうです。

何か寂しさを感じます。

「ノーサイドの心」この笛に込められた「昨日の敵は今日の友」的なノーサイドの精神を守り、後の世代にも伝えて行くべきではないでしょうか。

昭和 40 年に設立された甲子園ロータリークラブも本年度で 55 周年を迎えています。本日の例会も 55 周年事業の一環として開催されています。

我々もまた、先人達の甲子園 RC 的な風土に育まれてきた精神を受け継ぎ、未来(明日)に向かって、楽しく愉快で活発なロータリークラブであり続けたいと思います。

引き続き、ご支援の程、お願いいたします。

